

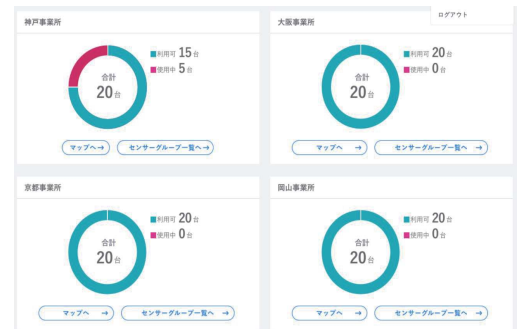
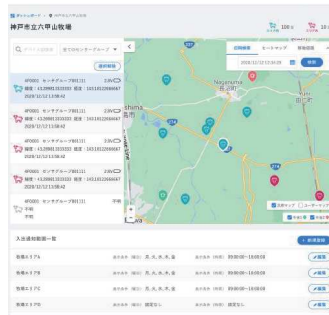
ZETADRIVE 開発中アプリケーションのご紹介

ZETADRIVEでは、LPWA ZETAを活用し各種センサーのセンシングデータを「収集」、「管理」、「見える化」することができます。現在ご利用いただける「ZETADRIVE センサーデータ閲覧システム」以外にも、テーマを限定した新しい見える化システムの開発に取り組んでおります。

【開発例①】GPS移動体管理アプリケーション

Coming Soon !!

車や動物等のニーズが明確にある対象物の位置情報を取得・蓄積することで、移動体に対する業務の効率化を図るアプリケーションです。



左: スカイテクノロジー社製GPSセンサー「SkyEye」
右: ZifiSense社製ZETA対応ICタグ「ZETag」

GPSマップ画面

ダッシュボード画面

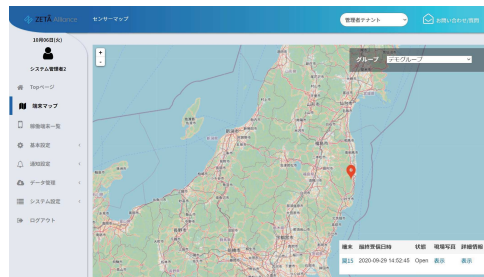
機能 (開発中)

- マップ上に、管理している移動体の位置や過去の移動経路を表示
- 事前に登録したマップ上の範囲内に入った (もしくは出た) 時、移動体の管理者に通知
- 複数拠点を管理し、各拠点の情報をダッシュボードで確認

【開発例②】鳥獣害対策用の監視用アプリケーション

Coming Soon !!

鳥獣を捕獲する罠にセンサーを付けてデータを取得することで、罠が作動した場合や罠から動物が逃げた際に早期での対応が可能となり、鳥獣による農作物などの被害低減が可能です。



マクセルフロンティア社製 罠センサー
マクセルニュースリリースより

罠設置場所 マップ画面

ダッシュボード画面

機能 (開発中)

- 罠の所在と稼働状況を確認可能。遠隔での監視とアラート機能により、早期での対応が可能となる
- 事前に状況を把握することで、罠にかかった動物による二次被害を防止
- 複数拠点を管理し、各拠点の情報をダッシュボードで確認